

やまだのうすいほぜんかい

山田農水保全会 (上田市)

・組織の活動面積 A= 15.26 ha

・組織の構成員数 約 50 人

組織形態

共同活動 ■

中山間直接支払 □

向上活動 □

取組開始年度

平成19年～

—

—

構成員

農業者、山田自治会、山田育成会、塩田西小学校

○組織の概要

「信州の鎌倉」と呼ばれる塩田平地域の西方に位置し、国宝安楽寺三重塔や厄除け観音として名高い北向観音などが存する別所温泉に隣接する地域です。塩田平地域は、全国でも有数の寡雨地域のため、戦国時代末期から多くの農業用ため池が築造されました。

地区内には、塩田平地域でも有数の貯水量を誇る山田池(貯水量約26万m³)があり、その受益地である水田は、昭和54年から平成2年にかけてほ場整備を実施しており、それらの農地や農業用施設を保全する活動を中心に行っています。

また、地区の中心には塩田西小学校があり、小学校PTAと連携を図りながら、小学校周辺の農道へのマツバギクの植栽や管理を行っています。

山田地区の農村環境を次世代につなぐ



山田地区のほ場



山田池



塩田西小学校

■活動の状況

水路の目地詰め



地区内の基幹水路である新堰(しんせんげ)の老朽化に伴う目地の補修作業です。

約1kmの水路を6～7名で行い、およそ1日かかりました。

塩田西小学校周辺の農道脇へのマツバギクの植栽



保全会の活動がスタートしてから、毎年マツバギクの植栽を行っています。

現在では、延長約150mにわたり、植栽、草刈り、周辺の清掃などを、PTAと連携して行っています。

【山田農水保全会だより(第9号)】

平成24年4月30日 山田農水保全会だより 第9号

『山田農水保全会 活動継続決定する』

平成23年度の活動をもって、5年間の活動を終了しました。24年以降もいままの様な活動が必要であるという事で、先週の臨時総会において継続が承認され、新正・別会長も選出された4月19日スタートしました。前会長は平成19年のスタート時と現在の組織運営の基盤づくりと定着、発展に尽力をいただきました。この間に会長と新会長の選任、新任に当たっての挨拶を行いました。

退任のあいさつ

山田農水保全会 前会長 金井純一

山田農水保全会活動が平成19年より24年3月31日まで、5年間の活動を終了いたしました。後継者候補を募集し、活動再開は、活動再開の責任を、自治会の皆さんに託すことになりました。活動再開は、山田農水保全会の活動再開の責任を、自治会の皆さんに託すことになりました。活動再開は、山田農水保全会の活動再開の責任を、自治会の皆さんに託すことになりました。

山田農水保全会だより

長い間、山田農水保全会の活動が、山田農水保全会の活動再開の責任を、自治会の皆さんに託すことになりました。活動再開は、山田農水保全会の活動再開の責任を、自治会の皆さんに託すことになりました。

【協定対象区域】

